

主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善について（小・中国語） ～令和2年度鹿児島学習定着度調査の結果から～

義務教育課

小学校

令和3年1月に実施した鹿児島学習定着度調査では、小5国語科の平均通過率は75.1%であり、このうち「基礎・基本」の問題については81.1%、「思考・表現」の問題については63.1%という結果でした。平均通過率が目標としていた7割を超え、定着が期待される問題を確実に正答できるようになったと考えられます。

「基礎・基本」については、ローマ字で書く問題の定着が昨年度までは課題（通過率55.9%）でしたが、今回は通過率が73.2%となり、向上しています。

「思考・表現」については、記述式の問題において、無解答率は低くなっており、自分の考えを文章化することの能力は高まっています。しかし「読むこと」の領域において、場面と描写を結び付けて、内容を解釈することに課題が残っています。

特徴ある問題から

- ③ 三 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかを問う問題 通過率 51.8%

三 「話し合いの様子の一部」の中の「B」のところで、福永さんは、「物語の一部」の言葉を取り上げながら、「ぼく」と大介が「以前のような親友になる」と考えた理由を話しています。あなたが福永さんなら、どのような理由を話しますか。次の条件に合わせて書きましよう。

（条件）

① 「話し合いの様子の一部」の中山さんのように、「物語の一部」から言葉や文を取り上げて書くこと。

② 取り上げた言葉や文をもとに、どうして「ぼく」と大介が以前のような親友になると考えるのかを書くこと。

③ 文末を「から。」で結び、四十字以上七十字以内にまとめて書くこと。

学習指導要領解説から

本問題は、物語の一部から言葉や文を取り上げること（事実）と、どうして以前のような親友になると考えるのか（考え）を結び付けて、一定の字数内で表現させる問題です。

「読むこと」の指導事項イに関わる内容です。描写に着目しながら読み進めているかを問う問題です。

授業改善のポイント

「読むこと」の授業において、描写に着目しながら読み進めていけるように、以下の事項に注意して指導しましょう。

- 1 考えを構築させる前に、叙述（文章中の言葉）を明らかにする指導を行いましょう。
（例）考えの根拠となる叙述に線を引かせる。
（例）ワークシートには、根拠と考えを分けて書かせるようにする。
- 2 考えの根拠となる叙述（文章中の言葉）を明確にさせる発問、板書に努めましょう。
（例）「文章中のどの言葉からそう思うのかな。」
「そう考える理由は、どの言葉からそう思うのかな。」
（例）根拠となる叙述のみ色付けして板書する。
（例）叙述を書く部分と自分の考えを書く部分を分けて板書する。
（例）「考えが同じでも、根拠となる叙述が違う人がいるね。」
（例）「根拠となる叙述が同じでも、考えが違う人がいるね。」

中学校

令和3年1月に実施した鹿児島学習定着度調査では、中1国語科の平均通過率は78.7%でした。このうち「基礎・基本」の問題については82.9%、「思考・表現」の問題については73.8%という結果でした。中2国語科の平均通過率は76.7%であり、このうち「基礎・基本」の問題については76.8%、「思考・表現」の問題については76.6%という結果でした。中学校国語科においては、平均通過率が目標としていた7割を超え、定着が期待される問題を確実に正答できるようになったと考えられます。

「基礎・基本」においては、中1では漢字の部首名を理解しているかを問う問題に、中2では、動詞の活用形、行書の特徴を理解しているかを問う問題に課題がありました。

「思考・表現」について、物語文の読解において、場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てることに課題がありました。

文章に表れているものの見方や考え方に対して自分の考えをもち、その根拠と理由について、筋道立てて書くことができるかを問う問題の通過率が高まっています。

特徴ある問題から

中1：4の三の3 通過率 63.5%

表現の効果について、具体的な表現を根拠にしながらかえることができるかを問う問題

三 この文章を読み終えた後に、気になる表現についての意見を交流する話し合いを行った。次の「話し合いの様子」を踏まえて、あとの各問いに答えよ。

【話し合いの様子】

進行役 では、話し合いを始めます。文章の中で、気になった表現やその理由などを全員で出し合って、様々な表現の工夫に気付いたり、他の人の意見を聞いて、自分の考えを深めたりするのが、話し合いのゴールです。

松川さん 誰から、どんな順番で言っていけばいいですか。

進行役 宮田さんから順に、時計回りに発表していくのはどうでしょうか。それぞれの発表に質問があれば、質問をして確認もしていければ分かりやすいですか。

石山さん そうですね。

進行役 じゃあ、宮田さん、お願いします。

宮田さん 私の意見としては、前半は、「黒くぬれたアスファルト」や「成績が悪かった」などの表現から、暗い雰囲気を感ずきました。でも、後半では、それがすっかり変わっているのがいいなと思いました。

3 あなたが宮田さんだとしたら、石山さんと松川さんの質問に対してどのように答えるか [] で囲まれた宮田さんの発言を参考にして書け。

学習指導要領解説から

本問題は、物語文を読んで、物語の後半部分がどんな雰囲気なのか、それはどんな表現に着目した結果なのかを問う問題です。

「読むこと」の指導事項イに関わる内容です。場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉える問題です。

授業改善のポイント

調査の結果、文章を読んで場面と描写を結び付けて、内容を解釈することを苦手としていることが分かります。昨年度も本調査において類似の問題を出しており、通過率も昨年度と大きな変化が見られない問題です。

そこで、特に以下のことに気を付けて指導しましょう。

- 1 場面の雰囲気をどのように感じるかについて発問し、叙述（文章中の言葉）を根拠として理由を述べさせる活動を取り入れましょう。
(例)「この文章を読んで、どんな雰囲気だと感じましたか。」
「それは、どこの文章のどの言葉からそう感じましたか。」
- 2 自分の解釈の根拠を考えたり、他の読み手の解釈と比較したりする活動を取り入れましょう。根拠を明確にさせる発問や、根拠を意識した授業を行いましょう。
(例)「解釈が同じ人同士でグループをつくり、そう考えた根拠（文章中の言葉）を出し合ひましょう。」
(例)「根拠（文章中の言葉）は同じで、解釈が異なる人を探してみよう。」